

株式会社 グリフィン(東京都千代田区)

【IT・ソフトウェア開発】

LEADER

代表取締役 上妻 英一 氏

商工会議所のイチオシ
ワークライフバランス
の推進

東京都千代田区にある株式会社グリフィン。経営理念に「信頼」を掲げ、お客様や社会への貢献とともに、社員間においても、信頼関係をもとにした共感・協力しあう風土を醸成している。11月末に2015年「TOKYOワークライフバランス認定企業」に選定された。

社員同士の活発な交流により、 働きやすい職場環境づくりを実現

■背景・きっかけ:

IT業界はハードな業務のため労働時間が長く不規則で、ワークライフバランスの活動が難しく、離職率も高いと言われているなか、グリフィン社は2002年の創業以来、「社員は家族同然である」というトップの想いにより、働きやすい職場づくりを行ってきた。今から4年半前、次世代育成支援対策基本法に基づく一般事業主行動計画を策定し、社内に環境改善委員会を設置してから、社員の声を積極的に取り入れた取り組みを次々と打ち出している。

■取組内容・効果:

環境改善委員会は営業本部営業推進グループの森本秀彦グループマネージャをリーダーとして約10名前後の社員を挙手制で募り活動してきた。この委員会での提案をもとに、「育児のための短時間勤務について小学校卒業までの延長」、「育児時間確保のための時間単位年休制度」、そして「男性の育児休暇制度(5日間)」が会社に採り入れられた。この育児休暇制度は、今のところ取得者は少ないものの、同社は若い社員が多いため、今後普及していくことが想定される。また、年休取得についても奨励し、5年前までは平均して年間6日程度の取得に留まっていたところ、ここ数年は10~11日と高まっている。

もちろん、IT業界ならではの忙しさは同社でも同じであり、繁忙期には長い残業も発生する。ただ、3年ほど前から、業務の担当を1人ではなく複数名のチームで受け持つ体制づくりを進めており、このことは先輩から後輩へのサポートという面でも、また、仕事を1人で抱え込まないため、必要があれば休暇が取りやすいという面でも役立っている。

そして、同社で特徴的なのは、社員の企画による活発な社内行事やイベントである。全社を挙げた新入社員歓迎会や社員旅行、忘年会のほか、スポーツ系の各種クラブ活動、それ以外にも登山、バーベキューなどのイベントが自然発生的に社内ネットに流れると全社から社員が集まっている。

活発なコミュニケーションは社員の定着や採用にも大きく寄与している。ここ数年、離職率は毎年5%未満であり、特にここ3年間の新入社員36名の退職者は0と、IT業界の中では極端に低い。また、同社の社風をよく調べて入社する社員が多く、採用活動は非常に順調である。

■今後の展望やその他の取り組み

これまでの取り組みを継続していく。また、同社ではメンタルヘルス対策として、定期的な研修だけでなく、ピアカウンセラー(社内カウンセラー)を10名程度育成し、隔々までサポートを行き渡らせることでメンタルヘルス不調者ゼロを実現している。

中小企業の実践ポイント

- ▶ 社員のニーズに採り入れた両立支援制度の整備
- ▶ 社員同士のコミュニケーションを活発にする仕掛けづくり

営業本部 営業推進グループ
グループマネージャ 森本 秀彦 氏



環境改善委員会メンバー



環境改善委員会 定例ミーティング



平成27年度新入社員歓迎会

【企業データ】

代表者	代表取締役 上妻 英一	会社設立年	2002年	従業員数	140人
本社所在地	東京都千代田区神田司町2-13	ホームページ	http://griffin-net.co.jp		
事業内容	システムコンサルティング、ソフトウェアの受託開発、システムエンジニアリングサービス、ニアショア事業				